

# QUALICOAT

# &

塗料メーカーの  
皆様へ

# A



QUALICOAT JAPAN

## クオリコートジャパン

QUALICOAT JAPAN

協力団体

JAPA 一般社団法人軽金属製品協会  
JAPCA 日本パウダーコーティング協同組合

「クオリコートジャパンのしおり」を併せてお読みください。

## QUALICOAT

&

### Q1：QUALICOATとは？

A

A: 建築用アルミニウムの塗装品質を維持推進するため、1986年に欧州で発足した民間の国際機関（本部：スイス・チューリッヒ）で、30年以上自主的に運営している世界的に実績のある規格認証制度です。QUALICOATは、独自の品質規格に基づいて、塗料・前処理・塗装工程を総合的に審査認証して建築用アルミニウム塗装品の品質性能を保証します。QUALICOAT本部は、各国に1機関をGeneral Licensee（GL）と定めその国に於ける認証権限（General License）を委託しています。

## QUALICOAT

&

### Q2：何故今日本へ導入？

A

A: なぜ今、QUALICOATなのでしょう。その理由は、VOCの無い環境に優しい粉体塗装が日本でもアルミニウム建材に使用されるようになり、需要家に安心して使って頂くため粉体塗装の品質保証が求められるようになったこと、またQUALICOATが粉体塗装品質に既に永い実績を持ち、今日欧州のみでなく、中近東や中国などアジアにおいても採用され、事実上の国際的認証制度として認められていること、更に品質を規定する規格だけでなく、公正な審査基準に基づき第三者の審査により認可、認証を受けることによる信頼性が確保される制度であることです。昨今プロセス管理を含めて顧客の信頼を得られるシステムが求められています。グローバル時代に適したアルミ建材の品質システムがQUALICOAT認証制度なのです。

## QUALICOAT

&

### Q3：日本の認証組織は？

A

A: 日本ではアルミニウム建材の表面処理に実績を持つ軽金属製品協会と粉体塗装の団体である日本パウダーコーティング協同組合が共同で、クオリコートジャパンを設立しGLになりました。認可については、クオリコートジャパンが申請を受け、審査・認証実務を行い、制度の維持管理にあたります。クオリコートジャパンは、常に本部と交流し、本部の審査との整合性を保ちます。クオリコートジャパンの申請に基づき、QUALICOAT本部は認可及びライセンスの付与を行います。QUALICOATによって、認可された塗料及び前処理剤には認可番号、ライセンス認証された塗装工場にはライセンス認証番号が与えられます。

## QUALICOAT

&  
A

### Q4：AAMAとの違いは？

A： AAMA規格は、米国建築製造業協会の業界で定めた品質規格で、性能品質試験方法とその評価基準値が定められています。塗装仕様・塗装工程など管理・検査・点検は含まれていません。日本では主に AAMA2605(超耐候性塗膜＝溶剤型フッ素樹脂)が普及しています。これに対して QUALICOAT は、粉体塗装分野で国際的に実績のある規格認証制度で、品質規格に基づき、塗料・前処理、塗装工程を包括的に審査し、認証することによって塗装したアルミ建材の品質を保証するシステムです。そのために性能品質、プロセス管理を第三者機関（QUALICOAT が認めた試験所）が試験、検査を行うものです。認証を受けた塗装工場の製品は品質ラベルの表示が出来、顧客への安心・信頼の証となります。

## QUALICOAT

&  
A

### Q5：日本での普及状況は？

#### Q5-1： 塗装事業者の認証取得状況は？

A： 2014年に日本での第1号認証が発行され、さらなる普及を目指しております。海外では、欧州を中心に中近東、アジア、アフリカ、豪州、中南米など世界50ヶ国、420工場に及んでいます。

#### Q5-2： ゼネコン・設計事務所への普及度は？

A： 日本のアルミ建材塗装の品質規格は、高耐候性フッ素樹脂塗装については AAMA2605が普及しています。それ以外に建築仕上げ学会標準仕様や軽金属製品協会規格などがありますが、アルミ建材粉体塗装の歴史が浅い日本では、従来公の粉体塗装規格はありませんでした。21世紀のグローバル時代になって、近年プロセスを含めた品質の信頼性と環境対応として日本でも粉体塗装が採用されるようになり、QUALICOAT 規格が注目を集めているわけです。

#### Q5-3： 塗料システムの認可実績は？

A： 世界では成長著しいアジアを含め 500件の塗料システムが認可されています。これまで日本国内の実績はほとんどありませんが、最近の国内受注物件でも QUALICOAT と同等の品質を要求されるケースが出てきています。

#### Q5-4： 今後、国内の認可取得状況はどうなる？

A： 近年 QUALICOAT 品質に関心が高まっており、近年厳しくなる環境対策やクロメート処理への規制に対し粉体塗装は非常に有効です。設計事務所・ゼネコンの理解が進めば、今後は、公正な品質評価機関でのお墨付きと、環境安全・安心・信頼の総てを満たす QUALICOAT 認証ライセンス取得工場が発注条件になるでしょう。そうなれば、国内でも認証取得工場が増えてくるでしょう。

### Q6-1：申請先は？

A： 認可の申請受付は、クオリコートジャパンで行っています。事務局にお申し出ください。

### Q6-2：塗料の申請区分は？

A： 認可は、塗料の品名の分類ではなく、各塗料の「樹脂組成」、「光沢レベル（3分類）」、「仕上げの違い」によって区分されています。最初は各区分について、白（RAL 9010）、青（RAL 5010）、赤（RAL 3005）の3色の試験を受けます。加えてメタリックカラーがある場合は、RAL 9006 または RAL 9007 で試験を受けなければなりません。

\*樹脂組成の例：①飽和カルボキシル基ポリエステル、②飽和水酸基ポリエステル、③エポキシ、  
④アクリル

\*光沢の分類：①0-30、②31-70、③71-100

\*仕上げの違い：①平滑な外観、②ストラクチャー外観（レザー模様（オレンジピール状）、テクスチャー模様（サンドペーパー状）、しわ模様）

### Q6-3：認可のための試験項目と塗料メーカーが備えるべき試験設備は？

A： 次の試験が行われ、合格しなければなりません。

1) 光沢度 2) 塗膜厚さ 3) 乾式付着性 4) 押し込み硬さ試験 5) カッピング試験 6) 屈曲試験 7) おもり落下試験（衝撃試験） 8) 湿潤雰囲気試験（亜硫酸ガス腐食試験） 9) 酢酸酸性塩水噴霧試験 10) 促進耐候性試験（キセノンランプ式） 11) 耐溶剤性（重合度） 12) 耐モルタル試験 13) 湿式付着性試験 14) 耐湿性試験（結露水試験） 15) 屋外暴露試験（フロリダ）

塗料の認可を受けるには、最小限の試験設備（光沢度計、膜厚計、曲げ試験機、付着性のためのカッター及び必要機器、押し込み硬さ試験機、カッピング試験機、衝撃試験機、焼付炉の温度及び時間測定装置、重合度チェックシステム、分光計、促進耐候性試験装置(\*1)、光源キャビネット、認可 RALGL カード）を保有していることが求められています(\*2)。

(\*1) 促進耐候性試験は、QUALICOAT 認可試験所あるいは ISO 17025 に基づくこの試験が認可された試験所に委託してもよい。

(\*2) 各装置は、個別の認識番号と校正点検のデータシートを有していること。

### Q6-4：屋外暴露試験は、いつ、どこで行われる？

A： 毎年4月、一斉にフロリダの暴露場で開始されます。

### Q6-5：アルミの試験板はどこで入手できる？

A： 機械的試験（カッピング試験、曲げ試験、衝撃試験）は、A5005P-H24 のアルミ合金板で行われ、その他の腐食試験等は、A6063S-T5 の押出型材で行われます。どちらのアルミ材料も一般社団法人軽金属製品協会 試験研究センター（TEL 0297-78-2511）で販売しています。

## Q6-6：申請から認可までのスケジュールは？

A： クオリコートジャパンでは、確実に認可が受けられるように、事前の準備段階からご相談を受け、助言させていただきます。その後正式に文書による申請を受け付けます。審査～取得までは、塗料のサンプルを受領後、試験に4ヶ月（Class3の場合は8ヶ月）必要です。

## Q6-7：塗料の認可を取得・維持する費用は？

A： 認可及び維持（更新）に係わる費用は、クオリコートジャパンに納める費用と本部に納める会費があります。その詳細は表1及び表2の通りです。

表1 クオリコートジャパンへ納める認可及び維持（更新）に係わる費用

	塗料／1システム		注1) 現地審査に伴う審査員の交通費（実費）、日当（1万円）、宿泊費（7千円）は、別途実費請求します。
	初回	更新（毎年）	
申請料	55,000円	35,000円	
現地審査費用注1	50,000円		
試験費用注2	Class1 又は Class2 ; 550,000円	Class1 又は Class2 ; 475,000円	注2) フロリダ暴露試験等為替の変動により、試験費用は変わることがあります。
	Class3 ; 800,000円	Class3 ; 710,000円	
認可料	100,000円	50,000円	注3) 複数システムを同時に申請する場合の費用は別添費用早見表をご覧ください。
	追加1システム 30,000円	追加1システム 15,000円	
合計注3	Class1 又は Class2 : 755,000円 Class3 : 1,005,000円	Class1 又は Class2 : 610,000円 Class3 : 845,000円	

\*この金額には消費税が含まれていません。請求時に消費税を合わせて請求させていただきます。

\*1塗料システムとは、樹脂の種類、光沢レベル（3分類）、ストラクチャーの違い毎に1つのシステムなります。1システムでは、3色のサンプルの試験を含みます。Class1及びClass2でメタリックがある場合は、メタリックを追加して申請することになります。その場合は、試験費用が183,000円追加になります。Class3の場合、メタリックは必須となりますので、追加試験費用は発生しません。

\*事前相談は、基本的に無料です。但し、受審者の要請による事前指導についてはコンサルタントを紹介いたします。コンサルタントの費用は、交通費（実費）、宿泊費（7000円）の他、日当として指導日一日当り5万円、移動で前日に入る場合は2万5千円追加になります。

表2 QUALICOAT 本部へ納める年会費

	年会費／塗料1システム	年会費は、QUALICOAT 本部にクオリコートジャパンが徴収し、一括して納めます。納める時期は4月です。初回の年会費は、1月～6月に認可された場合は1年分。7月以降に認可された場合は半年分となります。
Class1 及び 1.5	900ユーロ+10%手数料	
Class2	1,400ユーロ+10%手数料	
Class3	1,600ユーロ+10%手数料	

（参考）年会費は毎年4月送金日のレートで計算します。年度途中で新規に認可された場合は、認可を本部に申請する時点で納入して頂きます。その場合は上記の費用に銀行送金手数料が加算されます。

## QUALICOAT

### & A

## Q7：認可を取得した！それから？

### Q7-1：認可を維持していくためには？

A： 認可維持のための更新の審査が必要です。認可取得後は、毎年、QUALICOAT が指定する2色及びメタリック（RAL9006 または RAL9007）について審査を受ける必要があります。

### Q7-2：更新審査と試験は、誰が？

A： 更新審査は、クオリコートジャパンの審査員が行います。その試験結果に基づいて、クオリコートジャパンが認可の是非を審査し、QUALICOAT 本部に報告し、認可書授与となります。

### Q7-3：更新審査は、いつ来る？

A： 塗料の認可では、申請した初年に工場審査を行うこともあります。また、更新時に希望により、塗料を御社の設備で、官審査員の立会いの下に、塗布し、試験片を供試体として提出することも可能です。供試体の提出には、上記以外に、「塗料を指定される試験所に送付する」、「塗装事業者に納入された塗料を供試体として審査官が持ち帰る」場合もあります。これらの場合には、塗料メーカーの工場への立ち入りはありません。

### Q7-4：違反行為は？

A： QUALICOAT では次のような行為を違反とし、罰則の対象としています。

行為①：品質ラベルの不適切な使用や品質ラベルのイメージを損なう行為がなされた場合

行為②：年会費の不払い

罰則：1. 公式な声明

2. 懲戒

3. ラベルの取り消し

## QUALICOAT

### & A

## Q8：認可を取り下げたい。どうすれば？

A： 取得した認可の取り下げ申請は、クオリコートジャパン で受付けます。この場合、品質ラベルをはじめとする全ての QUALICOAT ロゴが記載されている書類を返納する、あるいはクオリコートジャパンの指示に従って保管する必要があります。

## 別添：塗料認可費用早見表

表1(初回)

		メタリックなし	メタリックあり
1システム	Class 1	755,000円	938,000円
	Class 2	755,000円	938,000円
	Class 3	1,005,000円	
2システム	Class 1	1,335,000円	1,701,000円
	Class 2	1,335,000円	1,701,000円
	Class 3	1,835,000円	
3システム	Class 1	1,915,000円	2,464,000円
	Class 2	1,915,000円	2,464,000円
	Class 3	2,665,000円	

QUALICOAT本部年会費	
900 ユーロ+10%手数料	
1,400 ユーロ+10%手数料	
1,600 ユーロ+10%手数料	
1,800 ユーロ+10%手数料	
2,800 ユーロ+10%手数料	
3,200 ユーロ+10%手数料	
2,700 ユーロ+10%手数料	
4,200 ユーロ+10%手数料	
4,800 ユーロ+10%手数料	

表2(更新)

		メタリックなし	メタリックあり
1システム	Class 1	610,000円	793,000円
	Class 2	610,000円	793,000円
	Class 3	845,000円	
2システム	Class 1	1,100,000円	1,466,000円
	Class 2	1,100,000円	1,466,000円
	Class 3	1,570,000円	
3システム	Class 1	1,590,000円	2,139,000円
	Class 2	1,590,000円	2,139,000円
	Class 3	2,295,000円	

QUALICOAT本部年会費	
900 ユーロ+10%手数料	
1,400 ユーロ+10%手数料	
1,600 ユーロ+10%手数料	
1,800 ユーロ+10%手数料	
2,800 ユーロ+10%手数料	
3,200 ユーロ+10%手数料	
2,700 ユーロ+10%手数料	
4,200 ユーロ+10%手数料	
4,800 ユーロ+10%手数料	

※樹脂の種類、光沢(3分類)、ストラクチャーの違い毎に1つの塗料システムとなります。

※Class3はメタリックが必須です。

お問い合わせ

クオリコートジャパン事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-13

アープセンタービル

(一般社団法人軽金属製品協会内)

TEL 03(3583)7971 FAX 03(3589)4574

e-mail: [qualicoat@apajapan.org](mailto:qualicoat@apajapan.org)

<http://www.apajapan.org/QCJ/>